

会報 安曇野教育

第78号

発行所 安曇野市教育会 発行日 令和6年 2月29日

発行人 松下 玲 題字 川 田 殖 編集 会報委員会

安曇野では

会長

新型コロナウイルス感染症が5類へ移行となり、昨年度まで中止やオンラインでの開催を余儀なくされていた「教育会総集会」「教研集会」などを今年度は参集で行うことができました。一同に会することで「仲間とのつながりのよさ」を改めて感じることができました。同じ場で顔を合わせて言葉を交わすことで協議が深まり、休憩時間等に他校の先生方と話をすることも有意義でした。一方、諸会合をオンライン等で行うことも進んでいます。今後も、「人と人のつながり」を大事にしながら、目的や内容、場所や時間を鑑みて、諸事業の開催方法を考えていきたいと思います。

信濃教育会の常任委員会が年7回行われます。会の中で「安曇野は？」と度々発言を促され、本教育会の取り組みを語ってきました。

その1 ‘若い先生方の活躍’ この話題の時、武田会長が必ず話されるのが「各地の教育会や職員会等から招かれ話をしているが、安曇野からは青年教師委員会主催の会で懇談した。その後も、若い先生が主体の活動が続いている。」昨年度スタートした青年教師委員会では、今年度は、「先生たちの総合的な学習の時間 ～安曇野の魅力再発見～」を開催し、地域を歩いて文化や歴史について学び、キャンプ飯作りを行いました。若い先生方が参加できる研修の場を企画運営しています。

その2 ‘地域とのつながり’ 8月に、信教主催の「信濃の国探訪」が安曇野で行われたことに関連して、「安曇野巡検」を毎年開催し、自然・歴史・文化等の教育素材を実際に見て肌で感じていることを紹介しました。また、地域の産学官が一体となつての「安曇野の子どもを語る会」、毎年大好評の「親子陶芸教室」も地域や家庭とのつながりがあつての事業です。

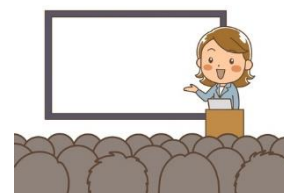
その3 ‘会員数の増加’ 多くの教育会で減少している中、本教育会では若干名ではありますが増えました。「人から人へ」を大事にした各学校での先生方の1人1人への丁寧な声がけに深く感謝いたします。引き続きよろしく願いいたします。

「安曇野のもの・ひと・ことを力に、人から人へのつながりを大切にしてともに学び合うことができる教育会」をつくっていきましょう。

令和6年度 安曇野教育会 主な予定

本年度も、安曇野教育会の多くの行事へのご協力、ありがとうございました。令和6年度は、次のように各種行事を予定しております。皆様のお力添えをいただきながら教育会の行事が盛んになりますようお願い申し上げます。

期 日	行 事 等
4月12日(金)	第1回臨時総会 16:00～
19日(金)	第1回各種委員会正副委員長会
22日(月)	第1回同好会幹事長会
5月2日(木)	定期総会 15:30～
8日(水)	同好会発足
11日(土)	安曇野市教育会総集会(午後) <豊科公民館ホールを予定> 講演会講師 松本短期大学幼児保育学科教授 白金 俊二 氏 <演題>「子どもとメディアの関係性とコントロールの必要性(仮)」
<div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> <p><プロフィール> 白金俊二(しらかねしゅんじ) 木曾郡南木曾町出身。信州大学教育学部卒業・星槎大学大学院修了。2014(平成26)年3月まで、長野県内の公立小・中学校に教諭として7校に勤務。その後、松本短期大学幼児保育学科講師、准教授、教授を経て、2024年4月に長野市の新設校に異動予定。地域活動として、アンテロープ塩尻FCで小・中学生のサッカー指導や審判活動、松本山雅fcと共催で幼児の運動教室などを開催。著書に「体動かせ人と関われ頭使え」「運動遊びのアイデアBOOK」など。</p> </div>	
21日(火)	第2回同好会幹事長会・第1回実技講習会特別委員会
28日(火)	初任者歓迎研修会
6月11日(火)	第2回実技講習会特別委員会
15日(土)	安曇野の先人等に学ぶ会
22日(土)	安曇野巡検
7月2日(火)	信州教師塾B①
4日(木)	第1回事業推進連絡会
6日(土)	信教総集会北安大会
23日(火)	哲学講習会
26日(金)	実技講習会
8月31日(土)	教育研究集会(分散開催)
10月19日(土)	特別学習会(親子陶芸教室)
22日(火)	信州教師塾B②
11月1日(金)	ものづくり展 ～11月5日(火)
11月9日(土)	安曇野の子どもを語る会
1月10日(金)	第2回事業推進連絡会
23日(木)	第3回同好会幹事長会
2月5日(水)	同好会まとめの会
18日(火)	第2回各種委員会正副委員長会
3月3日(月)	第2回臨時総会



< 編集後記 >感染症対策を乗り越え、新しい形の日常を取り戻した令和5年度となりました。会員の皆様には、本年度のまとめ、来年度の準備にお忙しい日々と拝察申し上げます。令和6年度がさらによい1年となりますよう、祈念しております。